

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月18日

【四半期会計期間】 第19期第2四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 日本ファルコム株式会社

【英訳名】 NIHON FALCOM CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 近藤 季洋

【本店の所在の場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野 貴司

【最寄りの連絡場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野 貴司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第18期 第2四半期累計期間	第19期 第2四半期累計期間	第18期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2019年3月31日	自 2019年10月1日 至 2020年3月31日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(千円)	1,047,459	707,817	2,454,128
経常利益	(千円)	701,173	346,132	1,472,367
四半期(当期)純利益	(千円)	489,700	242,463	1,006,163
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	164,130	164,130	164,130
発行済株式総数	(株)	10,280,000	10,280,000	10,280,000
純資産額	(千円)	5,552,316	6,187,855	6,068,748
総資産額	(千円)	5,874,356	6,334,478	6,592,577
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	47.64	23.59	97.88
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			12
自己資本比率	(%)	94.5	97.7	92.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	820,693	482,038	1,131,427
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,016	24,245	1,562
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	101,680	122,779	101,771
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	5,276,440	5,921,551	5,586,537

回次		第18期 第2四半期会計期間	第19期 第2四半期会計期間
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	22.21	3.18

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による事業への影響については、現時点では発生しておりませんが、今後も予断を許さない状況であるため引き続き注視してまいります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、累計販売台数が1億600万台を突破した据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに、「イース セルセタの樹海：改」（2019年5月発売）や「イース -Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）スーパープライス」（2019年6月発売）のほか、「イース」シリーズ最新作「イース -Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」（2019年9月発売）を販売しております。

また、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡：改」を2020年4月に発売し、同じくPlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 碧の軌跡：改」を2020年5月に発売いたします。

なお、累計販売本数450万本を突破している「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 創（はじまり）の軌跡」につきましては、2020年8月の発売に向けて鋭意制作中です。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は48百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

ライセンス部門におきましては、2019年10月に携帯型ゲーム機PlayStationVita向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡 Evolution」「英雄伝説 碧の軌跡 Evolution」の繁体字中国語版及び韓国語版を、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに「英雄伝説 閃の軌跡」の英仏語版を発売しました。2020年2月には、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「イース -Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」繁体字中国語版及び韓国語版を、2020年3月には「英雄伝説 閃の軌跡」をNintendo Switch及びPC向けに発売しました。

その他、旧タイトルのPCゲーム英語版ダウンロード販売やオンラインストーリーRPG「英雄伝説 暁の軌跡」、Nintendo Switch向け「イース -Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）」、据え置き型ゲーム機PlayStation4及びPC向けゲームソフト「東京ザナドゥeX+（エクスプラス）」英語版や「イース オリジン」日本語を含む多言語版、中国で展開しているスマートフォン向けアプリ「空の軌跡」のほか、「ラングリッサーモパイル」などのゲームタイトルとのコラボレーション展開を進め、ユーザー層の拡大を図りました。

なお、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに「イース セルセタの樹海：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年4月に、「英雄伝説 零の軌跡：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年5月に、「イース セルセタの樹海：改」英語版と「英雄伝説 碧の軌跡：改」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年6月にそれぞれ発売いたします。また、Nintendo Switch向けには「イース -Lacrimosa of DANA-」繁体字中国語版及び韓国語版を2020年5月に、「英雄伝説 閃の軌跡」英仏語版を2020年6月に発売する予定です。

その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は659百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は707百万円（前年同期比32.4%減）、営業利益は344百万円（前年同期比50.8%減）、経常利益は346百万円（前年同期比50.6%減）、四半期純利益は242百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

## (2) 財務状態の分析

### (総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が335百万円増加したことに対し、売掛金が573百万円減少したことにより6,334百万円（前事業年度末比3.9%減）となりました。

### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が106百万円減少したこと、未払法人税等が146百万円減少したことにより146百万円（前事業年度末比72.0%減）となりました。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い123百万円があったことに対し、四半期純利益を242百万円計上したことにより6,187百万円（前事業年度末比2.0%増）となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して335百万円増加し、5,921百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な状況は、次の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は482百万円（前年同期は820百万円の増加）となりました。これは主として、法人税等の支払額が209百万円、仕入債務の減少が106百万円、未払金の減少が45百万円あったものの、税引前四半期純利益を346百万円計上したこと、売上債権の減少が573百万円あったためであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は24百万円（前年同期は1百万円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が3百万円、敷金及び保証金の差入による支出が20百万円あったためであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は122百万円（前年同期は101百万円の減少）となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額は、230百万円であります。なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,800,000
計	34,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月18日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,280,000	10,280,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,280,000	10,280,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		10,280,000		164,130		319,363

## (5) 【大株主の状況】

2020年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所 有株式数の割合 (%)
株式会社日本ファルコムホールディングス	東京都立川市曙町2-8-18	4,160,000	40.46
加藤正幸	東京都日野市	1,150,000	11.18
加藤圭	東京都日野市	498,900	4.85
加藤翔	東京都日野市	495,000	4.81
五味大輔	長野県松本市	470,000	4.57
石川三恵子	神奈川県相模原市南区	145,700	1.41
草野孝之	東京都八王子市	143,500	1.39
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002 (常任代 理人 株式会社みずほ銀行)	100 KING STREET WEST, SUITE 3500, PO BOX 23 TORONTO, ONTARIO M5X 1A9 CANADA (東京都港区港南2-15-1)	140,000	1.36
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44(常任代理人 香港上海銀行)	P.O. BOX 1631 BOSTON, M ASSACHUSETTS 02105-1631(東京都中央区日本橋3-11-1)	135,500	1.31
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300002(常任代理人 株式会社みずほ 銀行)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG(東京都港区港南2-15-1)	125,400	1.21
計		7,464,000	72.60

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,276,900	102,769	
単元未満株式	2,900		
発行済株式総数	10,280,000		
総株主の議決権		102,769	

## 【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本ファルコム株式会社	東京都立川市曙町2-8 -18	200		200	0.00
計		200		200	0.00

(注) 上記のほか、単元未満自己株式数49株を所有しております。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における、役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,586,537	5,921,551
売掛金	728,053	154,514
製品	2,926	846
原材料	1,083	941
その他	16,378	10,908
流動資産合計	6,334,979	6,088,762
固定資産		
有形固定資産	3,440	5,855
無形固定資産	927	839
投資その他の資産	253,230	239,021
固定資産合計	257,598	245,716
資産合計	6,592,577	6,334,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,828	1,742
未払法人税等	218,569	72,465
賞与引当金	30,000	13,500
その他	167,431	58,915
流動負債合計	523,829	146,623
負債合計	523,829	146,623
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	5,585,556	5,704,662
自己株式	300	300
株主資本合計	6,068,748	6,187,855
純資産合計	6,068,748	6,187,855
負債純資産合計	6,592,577	6,334,478

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,047,459	707,817
売上原価	35,610	17,462
売上総利益	1,011,848	690,354
販売費及び一般管理費	312,250	346,070
営業利益	699,598	344,284
営業外収益		
受取利息	24	29
受取配当金	1,160	1,452
未払配当金除斥益	655	618
営業外収益合計	1,840	2,099
営業外費用		
為替差損	265	251
営業外費用合計	265	251
経常利益	701,173	346,132
税引前四半期純利益	701,173	346,132
法人税、住民税及び事業税	215,625	68,961
法人税等調整額	4,152	34,707
法人税等合計	211,473	103,668
四半期純利益	489,700	242,463

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	701,173	346,132
減価償却費	1,025	1,254
賞与引当金の増減額(は減少)	12,750	16,500
受取利息及び受取配当金	1,185	1,481
売上債権の増減額(は増加)	855,404	573,812
たな卸資産の増減額(は増加)	1,578	2,221
その他の資産の増減額(は増加)	501	5,635
仕入債務の増減額(は減少)	223,420	106,086
未払金の増減額(は減少)	59,954	45,879
未払消費税等の増減額(は減少)	38,505	53,114
その他の負債の増減額(は減少)	11,217	15,651
小計	1,212,650	690,343
利息及び配当金の受取額	1,185	1,481
法人税等の支払額	393,142	209,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	820,693	482,038
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,016	3,580
敷金及び保証金の差入による支出	-	20,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,016	24,245
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	79	-
配当金の支払額	101,601	122,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,680	122,779
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	717,996	335,013
現金及び現金同等物の期首残高	4,558,444	5,586,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,276,440	5,921,551

## 【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
研究開発費	200,371千円	230,377千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金	5,276,440千円	5,921,551千円
現金及び現金同等物	5,276,440千円	5,921,551千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月19日 定時株主総会	普通株式	102,798	10	2018年9月30日	2018年12月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月18日 定時株主総会	普通株式	123,357	12	2019年9月30日	2019年12月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	47円64銭	23円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	489,700	242,463
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	489,700	242,463
普通株式の期中平均株式数(株)	10,279,814	10,279,751

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

日本ファルコム株式会社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	鳥居陽	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	森田聡	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ファルコム株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの第19期事業年度の第2四半期会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本ファルコム株式会社の2020年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。